

2021年度福岡県工業技術センタークラブ総会（書面）

議 事

第1号議案	2020年度事業報告	資料1(1～7頁)
第2号議案	2020年度収支決算	資料2(8～9頁)
第3号議案	2021年度事業計画(案)	資料3(10～14頁)
第4号議案	2021年度収支予算(案)	資料4(15頁)
第5号議案	役員選任(案)	資料5(16～17頁)

2020 年度 事業報告

新型コロナウイルス感染症は経済にかつてないほどの大きな打撃を与え、多くの企業が深刻なダメージを受けるとともに、日常生活においても「新しい生活様式」の実践など、これまでの経済活動ならびに社会生活の大きな見直しを強いられています。

センタークラブ活動においても、年に一度会員が一堂に会する「先端技術シンポジウム」や会員企業の販路拡大支援のため毎年出展している「モノづくりフェア」が開催中止となるなど、各種事業が中止または縮小となりました。

1. 会員数（2021年3月31日現在）

269機関（2機関増、10機関減）

材料技術部会：	121機関	
バイオ技術部会：	73機関	
デザイン部会：	63機関	
機械・電子技術部会：	116機関	（技術部会は重複参加可能）

【2020年度入会】

※企業会員

宮若 STM 石灰（株）、（有）MIZUBEFIT

… 以上、2社

2. 理事会（書面開催）

【期 間】 2020年5月25日～2020年6月5日

【内 容】 2020年度総会の開催及び付議事項について

3. 総会（書面開催）

【期 間】 2020年6月22日～2020年7月3日

【議 案】・2019年度（令和元年度）事業報告について

・2019年度（令和元年度）収支決算について

・2020年度（令和2年度）事業計画（案）について

・2020年度（令和2年度）収支予算（案）について

・役員選任（案）について

4. 先端技術シンポジウム

4-1 2020年度先端技術シンポジウム

新型コロナウイルス感染症の収束の目処が立たず開催中止となりました。

（参考 当初の予定）

【開催日】 2020年7月1日（水）

【場 所】 福岡リーセントホテル

【内 容】

<特別講演>

「ロボットを活用した日本のものづくりの将来」

高丸工業株式会社 代表取締役 高丸 正 氏

<会員成果事例発表>

- ・城島瓦協同組合（材料技術部会）
- ・（株）九州メディカル（バイオ技術部会）
- ・九州木材工業（株）（デザイン部会）
- ・アイム電機工業（株）（機械・電子技術部会）

<支援メニューの紹介>

- ・福岡県中小企業生産性向上支援センターの取組について

<ポスター発表>

- ・会員機関：古川化学工業(株)、中島ゴム工業(株)、(株) やまやコミュニケーションズ、(株) マルミツサンヨー、(有) 丸惣、(株) 丸仙工業、(株) 辻製作所、和 new 工業（株）、福岡県工業技術センタークラブ生産性向上研究会 **9 件**
- ・工業技術センター：**18 件**

<交流会>

4-2 2021年度センタークラブ創立20周年記念シンポジウム実行委員会

【開催日】2020年12月16日（水）

【場 所】福岡県工業技術センター

【内 容】

- ・2021年度委員長の選出

委 員 長：山口 修司 氏 （株）C&Gシステムズ

- ・2020年度先端技術シンポジウム報告

- ・2021年度センタークラブ創立20周年記念事業の実施内容について

- ・福岡県工業技術センタークラブの今後の活動について

5. その他の事業

5-1 「生産性向上研究会」

- ・IoT関連技術実習セミナー

- ・第1回実習セミナー

日 時：11月20日（金） 13：30～17：00

会 場：機械電子研究所 研修室

参加者：7社（11名）

内 容：①IoT導入支援キットの作製（講師：電子技術課）

②Node-REDによる見える化の基礎（講師：電子技術課）

- ・第2回実習セミナー

2月開催予定 ⇒ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み開催中止

- ・IoT活用勉強会

日 時：3月10日（水） 14：00～15：30

会 場：オンライン開催（Webexミーティング）

参加者：5社（11名）

内 容：①各社の進捗状況報告・意見交換

②IoT導入支援キットの新バージョンについて

③令和3年度の活動について

- ・**IoT導入支援キットオープンソースソフトウェアの無償提供開始**

内 容：生産現場で気軽にIoTを始めることができる「IoT導入支援キット」の作製方法とソフトウェア（オープンソースソフトウェア）を工業技術センターホームページ上で無償提供開始

開始日時：3月26日（金） 14：00～

- ・技術支援

- ・会議（来所、オンライン）、メール、電話による技術フォロー

- ・メーリングリストによる補助金、技術セミナー等の情報提供

５－２ 工業技術センターおよび会員相互の連携

- ・工業技術センター成果発表会（オンライン）の共催
（２０２０年１１月２４日～１２月２３日）
アクセス数：８７３件
- ・会員名簿作成（２０２０年１月発行）

５－３ 技術情報の提供等

- ・メール等による助成事業、技術講演会等の情報提供（４７回、８９件）

５－４ 会員の製品・技術の PR による販路拡大支援

- ・モノづくりフェア２０２０
会員公募により３社の出展を決定。
新日本非破壊検査（株）、二瀬窯業（株）、（株）マルミツサンヨー（株）
※新型コロナウイルス感染症の影響により展示会開催中止。

５－５ 工業技術センタークラブの PR

- ・展示会でのパネル等によるセンタークラブの活動や成果事例のアピール
エコテクノ２０２０オンライン見本市
（２０２０年１０月１２日～２０２１年２月２６日）

6. 技術部会活動実績

センタークラブの活動の主体である部会活動については、各部会委員会において検討され、講演会、セミナー、見学会、研究会等が計画されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が大幅に制限された。このことから、各部会委員会において書面会議を実施、3密を回避した講演会、セミナー、見学会及び研究会等を、一部オンラインを活用して実施した。

6-1 ナノテク・材料技術部会

ナノテク・材料技術部会では、講習会を実施した。

・委員会の開催

	開催日	場所	内容
第1回	2020.7.1	書面会議	・部会運営体制について ・2019 年度活動実績、予算報告について ・2020 年度事業計画案、事業予算案について
第2回	2021.3.12 ～18	書面会議	・2020 年度部会活動状況について ・2021 年度部会事業案、予算案について ・部会委員について

・技術部会の開催

	開催日	場所	内容	参加者数
第1回	2020.5.15 ～6.8	化学繊維研究所	補助金相談会 「ものづくり補助金, サポイン事業等補助金獲得のための個別相談会」	9名 うち会員 2名(1機関)
第2回	2020.7.9	化学繊維研究所	素材評価・解析技術研究会 「モルタル中の塩素元素分析方法の検討について」令和元年度テーマ 研究討論会(R2.2 月開催予定分)	11名 うち会員 4名(2機関)

6-2 バイオ技術部会

バイオ技術部会では、技術講習会を実施した。

・委員会の開催

	開催日	場所	内容
第1回	2020.7	書面会議	・2019 年度決算、2020 年度事業計画及び事業予算について
第2回	2021.3	書面会議	・2020 年度事業実績について ・2021 年度事業方針について

・技術部会の開催

	開催日	場所	内容	参加者数
第1回	2020.10.29 ～30	生物食品研究所	技術講習会 「微生物取り扱い講習会」	会員4名
第2回	2020.11.19 ～20	生物食品研究所	技術講習会 「微生物取り扱い講習会」	4名

第3回	2020.12.10 ～11	生物食品研究所	技術講習会 「微生物取り扱い講習会」	4名
第4回	2021.2.12, 24	久留米リサーチ センタービル 及びオンライン	第105回バイオ研究・ビジネス最前線『「五感と 表現力にチャレンジ！」官能評価入門』	21名 うち会員 12名

6-3 デザイン部会

デザイン部会では、新型コロナウイルス感染症対策のため「製品開発研究会」で実施している「デザインブラッシュアップ講座」の開始が11月となった。期間を設けての募集はせず、随時募集の形態とし、現在も継続して募集している。

・委員会の開催

	開催日	場所	内容
第1回	2021.3.25	書面会議	・2020年度事業及び決算案報告について ・2021年度事業及び予算計画案について

・製品開発研究会の開催

	開催日	場所	内容	参加者数
第1回	2020.11.16	九州産業大学	令和2年度デザインブラッシュアップ講座	公募中

6-4 機械・電子技術部会

機械・電子技術部会では、技術講習会を実施した。

・委員会の開催

	開催日	場所	内容
第1回	2020.7.1 ～27	書面会議	・2019年度活動実績と収支決算の報告 ・2020年度活動計画の審議
第2回	2020.8.5 ～17	書面会議	・委員交代に係る審議
第3回	2021.1.26 ～2.8	書面会議	・2020年度活動実績(中間報告) ・2021年度事業計画(方針検討)
第4回	2020.3.8 ～22	書面審査	・2020年度活動実績、収支報告(見込) ・2021年度事業計画(方針検討)

・技術部会の開催

	開催日	場所	内容	参加者数
第1回	2020.11.26, 12.2,12.18	機械電子研究所	技術講習会 演題 熱流体可視化システムのご紹介 講師 機械電子研究所 周善寺清隆、村田顕彦	11名 うち会員 9名(6機関)
第2回	2020.12.1	機械電子研究所	技術講習会 演題 コロナ禍の今、ミドルマネージメント 層へ向けた人材育成 講師 村上中小企業診断士事務所	24名 うち会員 14名(4機関)

第3回	2021.1.26	オンライン会場(主催者拠点:機械電子研究所)	技術講習会(オンライン) 演題 EMC 対策基礎セミナー ～ノイズフィルタの基礎と対策事例～ 講師 TDK ラムダ(株)	84名 うち会員 31名(14機関)
第4回	2021.2.26	オンライン会場(主催者拠点:機械電子研究所)	技術講習会(オンライン) 演題:道路・河川インフラにおける SfM と3次元点群の利用について 講師 国立研究開発法人 土木研究所	19名 うち会員 13名(3機関)

7. 2020 年度共同研究実績など

センタークラブ会員が福岡県工業技術センターと連携して研究開発課題を解決するために、2020 年度に実施した共同研究開発プロジェクトは 34 件、参画会員機関数は 55 社（前年度 43 社）であった。

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
工業技術センター全テーマ数	82	79	66
会員企業との連携テーマ数	43	37	34
会員企業関連テーマの割合	52.4%	46.8	51.5

工業技術センターが実施している全研究開発プロジェクトの中で、センタークラブ会員と連携した件数の割合は 50%程度で緊密性を維持しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下でも連携を図ることができた。

第2号議案

資料2

2020年度 福岡県工業技術センタークラブ収支決算書

2020年4月1日から2021年3月31日

1. 収入の部

単位:円

科目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
前年度繰越	1,357,844	1,357,844	0	
会費	2,630,000	2,560,000	▲ 70,000	253機関(前年度分、翌年度分含む)
先端シンポ	200,000	0	▲ 200,000	
生産性向上研究会	0	54,600	54,600	IoT導入支援キット部品買取(4社)
その他	100	22	▲ 78	利息(事務局): 6+1+8+2=17円 利息(技術部会): 1+2+1+1=5円
収入の部合計	4,187,944	3,972,466	▲ 215,478	

2. 支出の部

単位:円

科目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
会議費	5,000	5,292	292	理事会(郵送費) 5,292
事業費	3,350,000	416,895	▲ 2,933,105	
	1,450,000	50,770	▲ 1,399,230	総会(36,260円) 先端シンポ開催費(14,510円) 50,770
	150,000	216,601	66,601	生産性向上研究会 216,601
	450,000	0	▲ 450,000	工業技術センタークラブPR活動費 (モノづくりフェア2020開催中止) 0
	100,000	0	▲ 100,000	工業技術センター研究成果発表会(オンライン開催) 0
				郵送費 0
				チラシ印刷代 0
	1,200,000	149,524	▲ 1,050,476	技術部会事業費 149,524
				ナノテク・材料技術部会 0
				バイオ技術部会 144,148
				デザイン部会 5,376
事務費	150,000	122,357	▲ 27,643	機械・電子技術部会 0
				郵送費 68,861 事務用品 53,496
予備費	82,944	77,550	▲ 5,394	センタークラブ広告費(日刊工業新聞 福岡県工業技術センター特集等) 77,550
繰越金	600,000	3,350,372	-	創立20周年事業基金300,000円を含む
支出の部合計	4,187,944	3,972,466	▲ 215,478	

2021年4月27日

福岡県工業技術センタークラブ
会長 津田 純嗣 様

福岡県工業技術センタークラブ

監事 吉永 克美

監事 中島 幹雄



福岡県工業技術センタークラブ会則第9条第4項の規定により、下記のとおり
監査を行いましたので報告します。

記

1. 監査年月日： 2021年4月27日
2. 監査の対象： 2020年度事業及び決算
3. 監査の結果： 帳簿、証拠書類の照合を行った結果、計数に
相違なく正確であると認められる。

2021年度 事業計画（案）

1. 基本理念

新型コロナウイルス感染症による経済活動や生活様式の大きな変化、経済のグローバル化や情報化の進展による企業間競争の激化、人口減少や高齢化の進展による市場規模の縮小、人手不足など中小企業を取り巻く環境が激変するなか、県内ものづくり中小企業の多様で活力ある成長発展を図っていくためには、「高付加価値製品の開発」や「生産性の向上」が不可欠である。

コロナ禍の状況の中、センタークラブは、工業技術センターを中心に、他の試験研究機関や大学、産業支援機関、金融機関等とも積極的に連携し、技術開発へ果敢に取り組む会員企業の拡大や支援を図るとともに、今後さらなる技術力、人材、資金が必要となる会員企業の積極的な交流を通じた相互連携の促進を図り、着実な企業成長に繋げることを活動の基本理念とする。

2. 基本方針

① 新技術・独自技術の開発に果敢に取り組むものづくり企業の支援

- ・新技術開発に向けた機運醸成や最新技術に関する情報提供
- ・国や県等の補助金など競争的資金獲得のための支援
- ・ものづくり企業の根幹を担う人材の育成
- ・生産性向上に関する支援の強化

② 販路拡大支援

- ・新技術や新製品など開発成果の積極的な発信による取引拡大支援

③ 会員企業間および工業技術センターとの連携強化支援

- ・革新的技術開発に取り込む企業事例の紹介や情報交換会の開催
- ・会員企業ニーズの把握とその支援メニューのマッチング

3. 事業

(1) 理事会

2021年5月20日

- ・2021年度総会の付議事項について

(2) 総会（書面）

2021年6月

- ・2020年度事業報告及び収支決算について
- ・2021年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ・役員選任（案）について

(3) 先端技術シンポジウム

(3-1) センタークラブ創立20周年記念シンポジウム 2021年7月21日

【時間】 14:00～17:15

【会場】 ソラリア西鉄ホテル福岡（福岡市中央区天神2丁目2-43）

【内容】

- ① センタークラブ20年の活動報告 (15分)
センタークラブ事務局長 櫻谷 洋一
- ② 特別講演 (60分)
「ロボットとは多品種少量生産における省力化装置である
-日本のお家芸であるロボットを活用したものづくり-」
高丸工業株式会社
代表取締役 高丸 正 氏
- ③ 会員企業の成果事例発表 (15分×4テーマ)
- 「観光列車の内装材として施工可能なイブシ瓦建材の開発」
城島瓦協同組合 洪田瓦工場 代表 洪田 良一 氏
化学繊維研究所 化学課 阪本 尚孝
- 「微生物を利用した養豚脱臭資材の開発」
株式会社九州メディカル 課長 下川 智子 氏
生物食品研究所 生物資源課 齋藤 浩之
- 「低潮解性難燃剤とその難燃剤均質注入・非破壊分布測定技術及び内装・外装に適する塗装技術を開発することによる“全数・全部位防火材料基準”を満たす不燃木材の開発」
九州木材工業株式会社 部長 内倉 清隆 氏、原田 矩行 氏
インテリア研究所 技術開発課 岡村 博幸
- 「IoTを活用した水中ポンプの状態監視と高付加価値化」
アイム電機工業株式会社 部長 川嶋 竜之介 氏
機械電子研究所 電子技術課 林 宏充
- ④ 会員企業及び工業技術センターのポスター発表 (30分)
- ・会員機関： 5件（成果事例含め9件）
城島瓦協同組合、古川化学工業（株）、（株）九州メディカル、（株）同仁化学研究所及び（有）佐野商会、（株）マルミツサンヨー、九州木材工業（株）、高取焼宗家、アイム電機工業（株）、大電（株）
 - ・工業技術センター： 18件

(3-2) 2022年度実行委員会

2021年12月

- ・2022年度委員長・副委員長の選出
- ・センタークラブ創立20周年記念シンポジウム報告
- ・2022年度実施内容について

(4) その他の事業

(4-1) 「生産性向上研究会」

- ・技術セミナーの開催
- ・機械電子研究所で開発した「IoT 導入支援キット」の配布
- ・現場での実測を通じたハンズオン支援
- ・各社活用事例の紹介や測定ノウハウ情報の共有化

(4-2) 工業技術センターおよび会員相互の連携

- ・工業技術センター成果発表会の共催
- ・会員名簿の作成

(4-3) 技術情報の提供等

- ・メール等により、提案公募型事業、講演会、セミナー等の技術情報について、迅速な情報提供を行う。
- ・技術支援機関、関係団体等との連携

(4-4) 会員の製品・技術の PR による販路拡大支援

- ・「モノづくりフェア2021」出展支援（協賛）
引き続き、「モノづくりフェア2021」において、工業技術センタークラブの展示ブースを設け、会員企業の展示スペースを確保
会員企業へ出展の公募を行い、企業を決定
- ・関東で開催される展示会への出展
新価値創造展2021等の関東で開催される展示会への出展を検討
工業技術センタークラブの展示ブースを設け、会員企業の展示スペースを確保
会員企業へ出展の公募を行い、企業を決定

(4-5) 工業技術センタークラブの PR

- ・展示会等への出展
「モノづくりフェア」「エコベンチャーメッセ」などの展示会において、センタークラブの活動や成果事例のアピールを行い、会員増加の促進を図る。
- ・工業技術センター利用企業へのセンタークラブの案内を徹底
- ・パンフレットおよびホームページ等に成果や事業の実績を紹介

(4-6) 特別会員との連携

- ・会員企業の新たな連携の促進や事業展開のために、特別会員が実施している企業向け支援メニューの紹介等を進める。

(5) 技術部会の活動計画

- ・会員への訪問や技術部会を通して会員のニーズを把握し、講習会や見学会などの部会活動や、より目的を絞った研究会活動等を行う。
- ・各部会の会員ニーズに基づき、工業技術センターとの連携を密にし、提案公募型研究開発事業へ積極的に提案を行う。

（５－１）ナノテク・材料技術部会

ナノテク・材料技術部会では、会員企業の「高分子材料開発支援ラボ」（２０１８年５月開設）の積極的な活用を促すとともに、会員ニーズに応じた講習会等を実施。

委員会：第１回 2021.7.21 西鉄イン天神

2020 年度活動実績、決算報告について

2021 年度事業計画案、事業予算案について

2021 年度コロナ禍での事業実施について 等

第２回 2022.3 化学繊維研究所

2021 年度状況報告・2022 年度運営案について

技術部会：第１～５回 2021.7～2022.3

講習会４回・見学会１回、機器講習会随時 予定

（５－２）バイオ技術部会

バイオ技術部会では、福岡県バイオ産業拠点推進会議と積極的に連携し、技術セミナーや機器講習会、企業見学会等を実施。部会会員企業の支援（国補助金獲得支援、技術課題への対応等）

委員会：第１回 2021.7

2021 年度技術部会の体制について

2021 年度事業計画案、事業予算案について

情報提供 等

第２回 2022.3

2021 年度事業報告・2022 年度事業方針について

技術部会：第１～３回 2021.7～2022.3

講習会３回・講演会１回・見学会１回予定

（５－３）デザイン部会

デザイン部会では、会員企業の「家具試作支援ラボ、家具評価支援ラボ」（２０１９年５月開設）の積極的な活用を図るために、新規導入された試作用機器、評価用機器などの講習会等を実施。

また、デザインの視点から実践的な製品化や販売計画を検討する「デザインブラッシュアップ講座」を実施。

委員会：第１回 2021.7.21 ソラリア西鉄ホテル福岡

2021 年度運営について

第２回 2022.3 インテリア研究所

2021 年度事業報告、2022 年度事業計画について

技術部会：第1回 2021.8～12 講演会

第2回 2021.8～12 見学会

CLT（直交集成板）工法が採用された建築物の見学

製品開発研究会：「デザインブラッシュアップ講座」15回程度開催予定

受講企業のそれぞれの製品に対して、企業の人材育成も視野に入れ、大学の教授・学生、工業技術センター職員が支援し、デザインの視点から実践的な製品化や販売計画の支援を実施する。

（５－４）機械・電子技術部会

機械・電子技術部会では、会員企業の要望に応じた技術講演会や企業見学会等を実施。

委員会：第1回 2021.7

2020年度活動報告・2021年度活動計画について

第2回 2021.11～2022.1

2021年度状況報告・2022年度事業方針について

第3回 2022.3 書面審議

2021年度活動報告・2022年度事業方針について

技術部会：第1～5回 2021.10～2022.3

講演会等5回・見学会1回・展示会出展1回程度を予定

第4号議案

資料4

2021年度 福岡県工業技術センタークラブ収支予算書(案)

2021年4月1日から2022年3月31日

1. 収入の部

単位:円

科目	2020予算	2021予算	増減	備考
前年度繰越	1,357,844	3,350,372	1,992,528	事務局・4部会繰越
会費	2,630,000	2,470,000	-160,000	会員:247機関 年会費:10,000円
先端シンポ (20周年記念)	200,000	0	-200,000	
その他	100	100	0	利息(事務局、4部会)
収入の部合計	4,187,944	5,820,472	1,632,528	

2. 支出の部

単位:円

科目	2020予算	2021予算	増減	備考
会議費	5,000	10,000	5,000	理事会(飲料代等)
事業費	3,350,000	5,300,000	1,950,000	
	1,450,000	2,450,000	1,000,000	総会・創立20周年記念シンポ開催費
	150,000	150,000	0	生産性向上研究会
	450,000	1,200,000	750,000	工業技術センタークラブPR活動費 (モノづくりフェア展示代、新聞広告代等)
	100,000	100,000	0	工業技術センター研究成果発表会
				100,000
				開催案内郵送費
				70,000
				センタークラブポスター等作成費
				30,000
	1,200,000	1,400,000	200,000	技術部会事業費
				1,400,000
				ナノテク・材料技術部会
				350,000
				バイオ技術部会
事務費	150,000	200,000	50,000	350,000
				デザイン部会
				350,000
創立20周年事業 基金	600,000	0	-600,000	機械・電子技術部会
				350,000
				350,000
予備費	82,944	310,472	227,528	
支出の部合計	4,187,944	5,820,472	2,232,528	

役員選任（案）について

福岡県工業技術センタークラブ会則第10条第1項に基づき、下記の役員を選任するものである。

記

1	会 長	1 名
2	副会長	3 名以内
3	理 事	1 5 名以内
4	監 事	2 名

福岡県工業技術センタークラブ 役員名簿

(2020～2022年総会まで)

敬称略・順不同

役員	企業名	役職	氏名
会長	株式会社安川電機	代表取締役会長	津田 純嗣
副会長	株式会社C&Gシステムズ	代表取締役会長	山口 修司
副会長	オタライト株式会社	代表取締役社長	梅野 千秋
理事	株式会社高田工業所	代表取締役社長	高田 寿一郎
理事	株式会社フジコー	代表取締役会長	山本 厚生
理事	福岡県醤油醸造協同組合	技術顧問	野田 義治
理事	株式会社メイホー	代表取締役社長	永松 克彦
理事	昭和鉄工株式会社	代表取締役社長	日野 宏昭
理事	株式会社ピラミッド	代表取締役社長	柏原 達也
理事	株式会社イシモク・コーポレーション	代表取締役社長	石井 泰彦
理事	一番食品株式会社	代表取締役社長	有吉 崇
理事	株式会社ピーエムティー	代表取締役	京谷 忠幸
理事	中村産業開発株式会社	代表取締役社長	中村 一義
理事	リックス株式会社	代表取締役社長	安井 卓
監事	株式会社昭和テックス	代表取締役会長	吉永 克美
監事	中島ゴム工業株式会社	代表取締役社長	中島 幹雄

変更